

■ノルウェーの「赤い党」(Rødt)が労働者階級の選択肢を提示

セヘル・アイダル

ノルウェーの急進左派政党「赤い党(ロート)」は近年数千人の党員を獲得し、月曜日の選挙で得票率を伸ばす見込みだ。国会議員セヘル・アイダルは、既存政党への不満を基盤に党が成長する過程を『ジャコバン』誌に語った。

インタビュアー: ジュディス・シャイト

ノルウェーは世界有数の富裕国であり、その背景には膨大な石油埋蔵量が大きく寄与している。しかし同国の石油資源と同様に重要なのが、1960年代から始まった強力な労働運動である。この運動により石油利益は富裕層の懐ではなく、福祉国家の財源へと流れ込んだ。他の産油国とは異なり、ノルウェーの富は驚くほど平等な社会の構築に活用され、わずか一世代で労働者階級の生活を変革した。

しかし近年、欧州全域と同様にノルウェーでも社会的不平等が拡大している。経済危機と政府主導の緊縮財政が相まって、戦後労働運動が勝ち取った成果は浸食され、伝統政党への支持基盤は空洞化した。この政治的・社会的停滞は主に右派勢力に利益をもたらしている。極右の進歩党は現在、労働党とほぼ互角の支持率を示している。労働党は伝統的にノルウェーを統治してきた勢力だが、ここ数十年で支持が急落している。

しかし労働党の左側には新たな競争相手が現れた。2007年に様々な共産主義・社会主義潮流が融合して結成された「赤い党(ロート)」だ。2017年に初めて議会入りして以来、支持率はほぼ3倍に拡大し、今週月曜の議会選挙でこの勢いをさらに伸ばす見込みである。

『ジャコバン』誌のジュディス・シェイトが、ロート党のセヘル・アイダル議員にインタビュー。極右勢力への挑戦戦略と、それが将来の社会主義ノルウェー構築にどう結びつくかを聞いた。

●ジュディス・シェイト

2021年の選挙で貴党(赤い党)は得票をほぼ倍増させました。現在の世論調査が示す通り、今回の選挙ではさらに結果を伸ばす見込みです。貴党の現在の成功要因は何だと考えますか？

●セヘル・アイダル

主な理由は二つあると思います。第一に、多くの国がノルウェーを社会民主主義の楽園のように見なしていますが、実際はそうではないことです。確かに状況は欧州を含む他国よりはるかに良好ですが、それでも階級格差は存在します。富裕層は富を増やすだけでなく、さらなる政治的権力を求め、それを得るために右派政党へ献金しています。人々はこうした構図を変えたいと考えており、多くの人にとってそれは創設時から経済的平等に焦点を当ててきた我が党への支持を意味するのです。

食料価格の高騰にも人々は気づき始めています。ノルウェーでは、2つの家族経営企業が食料品店の70%を支配しています。こうした不平等を目の当たりにした人々は考えます。労働者階級のために、もはや働けなくなった人々さえも支援しようとする政党がここにある、と。ノルウェー国民は不平等への意識を高め、変化を求めています。だからこそ、私は—そして願わくば—4年前よりも良い結果を今年達成できると確信しています。

多くの国がノルウェーを社会民主主義の楽園と見なすものの、実際はそうではありません。他国よりはるかに良い状況ではありますが、階級格差は依然として存在します。

第二の主要因は、ガザで進行中の虐殺だと考えます。これはノルウェーでも重大な問題です。パレスチナ人民との連帯は我が党にとって常に重要でしたが、特に今はそうです。多くの人々がパレスチナ人と共に立ち、ノルウェーにもっと行動してほしいと望んでいます。だからこそ彼らはパレスチナ支持政党を選んでいるのです。

●ジュディス・シェイト

なぜ人々は、あなたが言うように不平等への意識を高めていると思いますか？

●セヘル・アイダル

経済状況が原因だと思います。あらゆるものが以前より高価になりました。今では平均的なノルウェー人家庭でさえ、20年前にはなかった経済的不安を感じています。親世代は安心していましたが、彼らはそうではありません。

●ジュディス・シェイト

一方でノルウェーの富裕層は新聞に「この国で金持ちであることの苦勞」を嘆く記事を寄稿しています…

●セヘル・アイダル

その通り。人々が感じる経済的不安と、富の分配における目に見える不公平さの両方が原因です。ノルウェーにこれほど多くの超富裕層が存在したことはかつてなく、人々は対比をより鮮明に認識しているのです。

私たちは今、オスロ最大の病院の前に立っています。ここは主要な職場であり大雇用主ですが、政治家が言うように「病院に十分な資金がない」ため、スタッフ不足に直面しています。しかしノルウェーに十分な資金があることは誰もが知っています。だからこそ、多くの人が私たちと話したり、投票するつもりだと伝えてくるのです。これは公共部門だけでなく民間企業でも同様です。

●ジュディス・シャイト

生活費の高騰について話されましたが、ロシアのウクライナ侵攻が物価上昇にどの程度寄与しているのでしょうか？

●セヘル・アイダル

これはノルウェーで大きな議論となっています。特に与党系政党は、電力価格の上昇は侵攻が原因だと主張しています。しかしこれは事実とは言い難いのです。

問題は、ノルウェーには豊富なエネルギー資源があり、かつては民主的な公共管理下にあったことです。現在、ノルウェーのエネルギー網は欧州市場に統合され、価格は高騰しています。しかしこれは政治的選択の問題です。インフラを市場に委ねるか、民主的統制下に置くかの選択です。もちろん戦争が一部価格に影響を与えたのは事実ですが、全体像ではありません。

●ジュディス・シャイト

ノルウェーは既に NATO 加盟国で防衛費も比較的高い水準にある中、侵攻はノルウェー政治に広範にどのような影響を与えましたか？ 貴党は NATO 離脱方針を撤回するよう圧力を受けていますか？

●セヘル・アイダル

ロシアの侵攻は防衛分野に関する新たな議論を呼び起こしました。現在では、自国の防衛力を強化すべきという点ではほぼ全ての政党が合意しています。以前は米国が我々を救うだろうという期待がありましたが、特にドナルド・トランプ政権以降、人々はそうは考えなくなりました。

ノルウェーは豊富なエネルギー資源を有し、かつては民主的な公共管理下にありました。しかし現在、ノルウェーのエネルギー網は欧州市場に統合され、価格は高騰しています。

党内ではウクライナへの武器供与についても激しい議論がありました。容易な決断ではなかったが、最終的には適切な立場に到達したと思います。我々は依然として NATO に反対しますが、ウクライナを支援し、武器を含む自衛権を認める立場です。

戦争の影響が特に大きいのは、ロシアがノルウェーの隣国であり、その隣国が今や別の隣国を攻撃しているからです。我々赤い党は、ロシアであれ米国であれイスラエルであれ、いかなる国からの帝国主義や侵略にも反対します—その起源は問いません。我々は原則的な立場を取っています。残念ながら、他のノルウェー政党は常に同じ原則を一貫して守っているわけではなく、ある戦争には反対するが別の戦争には反対しないという姿勢です。

●ジュディス・シェイト

他の欧州諸国と同様、ノルウェーでも右派ポピュリズムが台頭しています。一時は極右の進歩党が議会で最大勢力になる可能性さえありました。現在ではその可能性は薄れましたが、この傾向をどれほど危険と捉え、ロート党はどのような対策を取っているのでしょうか？

●セヘル・アイダル

もちろん懸念すべき事態です。私だけでなく多くの人々がそう感じています。これは社会に根ざしたより深刻な問題の表れだからです。極右の脅威に対処する私たちの主要な戦略は、自らの政治理念と政策—ノルウェーで共に実現できること—を語り続けることです。一方、中道左派や中道政党は、有権者に「極右は危険だ」と警告することに終始しがちです。確かにその通りですが、それだけでは不十分です。人々に選択肢を示す必要があるのです。

だからこそ我々は経済政策を重視します。赤い党では、労働者階級や病人、高齢者にとって、極右の政策より我々の政策の方がはるかに利益をもたらすことを有権者に示そうとしています。極右の進歩党の経済政策が実施されれば、労働者の日常生活は悪化します。進歩党は最も富裕層のために働いています—彼らの行動を見れば明らかです。我々はそれを暴こうとしています。

●ジュディス・シェイト

現在の世論調査では労働党が再び首位となる見込みですが、連立与党である中央党と社会主義左派党の支持率は低下しており、現政権の存続は困難でしょう。もし貴党が政権参加の機会を与えられた場合、右派の政権奪取を防ぐために受諾しますか？

●セヘル・アイダル

赤い党は不平等を減らすための政治変革に貢献したいと考えています。政権参加自体が目的ではありません。資本主義のルールで資本主義を運営するだけの参加には懐疑的です。将来的に現実的な選択肢となるには、現在の体制に挑戦できるだけの強さが必要です。例えばエネルギー資源の民主的統制を取り戻すこと、欧州経済領域協定を終了させ EU と新たな民主的な貿

易協定を交渉することなどです。我が党は成長はしているものの、まだその段階には至っていません。

▼中道左派や中道政党は、極右が危険だと有権者に訴えることに終始しがちだ。それは事実だが、それだけでは不十分である。人々に選択肢を示す必要がある。

代わりに、赤い党の計画は、多数派連合を構成する政党をまとめ、今後 4 年間の主要政策方針について合意を形成することです。我々にとって重要なことは、労働党が左派へのコミットメントを堅持し、その日の気分で右派と左派の間を行き来しないことです。富裕層や企業が社会により多く貢献し、歯科医療が公的医療サービスに含まれ、病人・障害者・年金受給者への給付が拡大されることを求めます。

今年の新展開として、主要全国労働組合連合が赤い党を広範な赤緑連合の一員と認め、財政的に支援している。

●ジュディス・シャイト

全盛期は過ぎたものの、労働党は依然ノルウェー政治を支配しています。その地位が低下する中で、レッド党の役割をどう見ていますか？ 最終的に労働党に代わる労働者階級の主要政党を目指すのですか？

●セヘル・アイダル

我々は真の労働者階級政党と自認しています。労働党は様々な社会集団のバランスを取ろうとする既成政党となりました。しかしノルウェーの富裕層は自らの利益のために激しく闘っています。彼らとその他大勢の間で単にバランスを取るだけでは不十分です—労働者階級の利益のために闘わねばならないのです。

もちろん労働党が右派政党より強ければ望ましいが、彼らを強化するのは我々の役目ではありません。我々の役割は労働党を左に押しやり、労働組合を支援することです。その役割は既に果たしていると思います。

●ジュディス・シャイト

ドイツ社会主義政党「ディ・リンケ」の欧州議会議員を短期間務めたカロラ・ラツケテは最近、ノルウェーでの抗議行動で注目を集めました。同国が継続する石油輸出を麻薬密売人に例え、欧州を化石燃料に「依存」させ続けていると批判したのです。貴党はノルウェーの巨大石油産業、特に石油労働者に対してどのような姿勢を取っていますか？

●セヘル・アイダル

ラケッテ氏の発言内容については詳しく存じ上げませんので、直接コメントするのは難しいです。しかしノルウェーの石油産業に関しては、赤い党も段階的な廃止が必要だと認識しています。ノルウェー政府は石油で莫大な利益を得ており、我々は重大な気候変動責任を負っています—それは未だ果たされていない責任です。

ノルウェーには、原材料の売却で生計を立てる国になることを望む政治家もいます。私たちはこれに反対します。我々の主要な提案は、新規石油探査を全て停止し、生産量を自然に減少させることです。しかしロート党は労働者党でもあるため、既存の雇用が失われる前に、代替となるグリーンジョブを構築する適切な計画が必要だと懸念しています。ノルウェーには排出ゼロの水力発電エネルギーがあり、グリーン産業に活用できます—しかし現在、大陸への電力輸出大国となったため、この巨大な潜在能力は活用されていません。

加えて申し上げれば、1960～70年代の強力な社会民主主義のおかげで、ノルウェーは他の資源国が成し得なかったことを達成しました。それは天然資源に対する国家所有と管理の確保です。私たちはその歴史を誇りに思っています。

●ジュディス・シャイト

貴党は2007年に様々なラジカルな左派の小グループが統合して結成された比較的若い政党です。結成以降の成長過程を教えてください。

●セヘル・アイダル

赤い党は2007年に結成され、当時は党員が2000人未満でした。現在では約1万4000人に達しています。もちろんどの政党にも歴史があり、多くの党員がそれぞれの経歴を持ち込んでいますが、今日の党は党員たちとその関わる闘争によって形作られています。最も励みになるのは、我々が経験した人口構成の変化です。当初は主に都市部の知識層が中心でしたが、過去10年間の成長は主に低賃金労働者や失業者層で起こり、大都市だけでなく全国から票を集めるようになってきています。

また、創設時より党員層は大幅に若返り、現在の指導部は前身組織ではなく「赤い党」そのものから生まれた存在です。これは赤い党が単なるブランド変更ではなく、ノルウェー労働者運動における真に新たな有機的勢力であることを示しています。道半ばではありますが、労働者階級における基盤を拡大し続け、一步一步ノルウェー左派の主導的勢力へと成長していくことを確信しています。